銘酒の里へ

2020/10/11 葡萄園収穫研修同行記

東 町 和

2020年10月11日午前10時半、ブドウ園チーム一行6名

た品種は赤ワイン用の「ヤマソービニョン」、フラ

(リーダー・小原壮二さん) はブドウ収穫の研修を受ける

ため福島県 東和町(現 在は二本松市 に併合)の 農家を訪ね た。一行の 内三名(高 木浩子さ ん、二宮克 彦さん・康 剛さん父



(写真) たわわに実る東和町のブドウ園

(写真上から) 手 慣れた小原さん。 神妙な中町さん。 経営する民宿「く まさん」前の熊谷 さん。

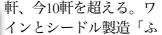
子) は本田和弥さん、他の三名 (小原さん、中町芙佐子さん、若 林) は熊谷耕一さんの農園へ。作

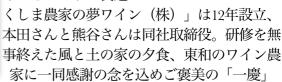
業は専用の「ぶどう 鋏」を使って行う。ぶ どうの房は一本の茎に ついているので房を片 手で支えながらもう一

方の手を使って茎をカットし、収穫用 の籠に入れる。この繰り返し。収穫し

えたぶどうの初収穫、ワインの 初仕込み。14年のワイン出荷か ら7年目。当初のブドウ農家は8

軒、今10軒を超える。ワ





2013年9

の2011年に植

を賞味させて頂いた。(文責・撮影: 若林一平)



(写真) 赤ワイン「一慶」

飯舘の銘酒へ

震災から7年目の2017年収穫の宗夫さ んの酒米「夢の香」から2018年誕生した のが「不死鳥の如く」、生酒の美酒はす でに堪能したみなさんも多いことである う。2017年は忘れられない「7年目の真 実」の年になりました。

2018年には佐須地区の酒米農家も増え て翌2019年には純米酒「復興」誕生。再 生への願いを込めた農家のみなさんの総 意で命名された。ラベルは虎捕山。

銘酒の仕込みについて。一貫してお世 話になっているのは寛政二年(1790)創 業・喜多方の大和川酒造店、会長は九代 目佐藤彌右衛門さんである。

2019年には宗夫 牧場と芳子さん畑 でワイン用のブド ウの試験栽培が始 まった。来年2021 年の初収穫が 待ち遠しい。



写真上から)収穫

したブドウ籠。風と

土の家の夕食-密防

止の透明衝立は佐野

隆章さんの労作。

(写真) 佐須のふくしま 再生の会事務所前の宗夫 さん、「復興」で一献!

